

ひとりじゃないよ

びょうきの子どもと きょうだいへの支援を考える

親やきょうだいが びょうきになると、何も言わなくても子どもは

大人の態度や暮らしの変化を 敏感に感じ取ります。

知らず知らずのうちに 我慢をしたり、誰にも言えない気持ちを抱えたりもします。

びょうきの子ども、そしてそのきょうだいを支えるためには、家族だけでなく

学校をはじめ さまざまな 周囲の力が 必要です。

ご家族はもちろん、子どもの育ちに関わりのある方、関心のある方同士 集まって

びょうきの子どもと そのきょうだいへの支援について学び、考えてみませんか。

おざわ みわ

講師：小澤 美和 氏（聖路加国際病院小児科 医長）

小児緩和ケア、小児がん経験者の心の問題・きょうだいのケア・子どもと
死別後の親・きょうだいのケア、親が重篤な疾患の子どものケアに関わる。



11月1日 [日] 13:00-15:00 (12:30 開場)

長崎市立図書館 新興善メモリアル ホール

定員：80名 親子で参加できます

申込：電話(095-829-4946)

または 図書館カウンター

